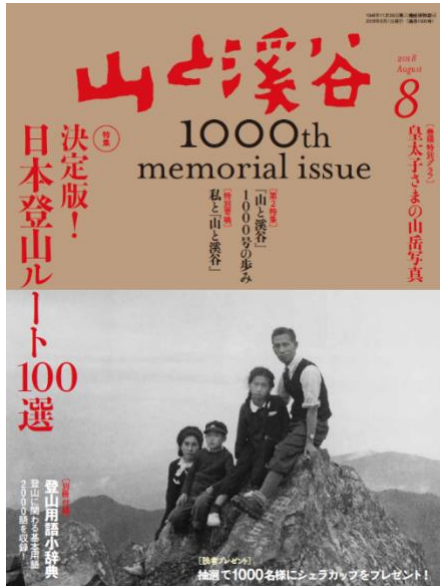


2018年7月13日  
株式会社 山と溪谷社  
<http://www.yamakei.co.jp/>

月刊誌『山と溪谷』は、2018年8月号（7/14発売）で通巻1000号を迎えます



インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）が刊行する月刊誌『山と溪谷』は、2018年7月14日発売の8月号で通巻1000号を迎えます。1930年（昭和5年）の創刊以来、雑誌名も題字も変えずに88年、1000号となります。

#### ■特別巻頭グラフ 皇太子さまの山岳写真

子どもの頃から両親に連れられて山に親しみ、結婚後もご家族で全国各地の山を歩かれている皇太子さま。これまでの山行で皇太子さまがお撮りになった「素顔の山」を、本誌巻頭グラフとして全14ページにわたり掲載します。

#### ■特集 創刊1000号記念「決定版！日本登山ルート100選」

日本にはすばらしい山がたくさんあり、その頂に至るルートはバラエティに富んでいます。これまで、深田久弥氏の「日本百名山」をはじめ、「花の百名山」や地方の百名山など、多くの名山が選出されてきました。『山と溪谷』創刊1000号を記念する今特集は、日本を代表する100の登山ルートを選出。全国を7つのエリアに分け、エリアを熟知した選者による選考委員会を設定。各エリアの選考委員会の合議により、決定版の100ルートを選定しました。

#### ■第2特集 『山と溪谷』1000号の歩み

通巻1000号におよぶ膨大なバックナンバーをひもときながら、日本の登山史を振り返ります。

##### 【第1部】表紙に見る「時代」

【第2部】誌面で振り返る登山史 1930～41年：アルピニズムと大衆登山の二極化／1941～45年：登山の軍事教練化／1945～58年：ヒマラヤオリンピック時代／1959～70年：熱狂的登山ブームと功罪／1971～85年：国内外のスターの登場／1986～2018年：中高年登山ブームから新時代へ

【第3部】『山と溪谷』を巡る雑学集 活躍した執筆者・著名人：芦澤一洋、植村直己、瓜生卓造、串田孫一、小島烏水、近藤等、沢野ひとし、椎名誠、田中澄江、田部井淳子、新田次郎、橋本龍太郎、深田久弥、不破哲三、本多勝一、みなみらんぼう、山野井泰史、吉沢一郎／誌面で振り返る山岳写真の歴史／創業者・川崎吉蔵とは／『山と溪谷』が1000号続いた理由／広告に見る登山史／歴代編集長思い出の記事

#### ■特別寄稿「私と『山と溪谷』」

川崎吉蔵の手により生まれ、理解のある山の仲間や著者、歴代の編集スタッフたちに育てられ、今日まで続く『山と溪谷』。本誌1000号の歴史と歩みを振り返る特別企画として、小誌と深い縁をもつ著者の方々に、数ある思い出のなかから印象深いエピソードを語っていただく特別寄稿。寄稿者：赤沼健至、岩崎元郎、市毛良枝、今井通子、神長幹雄、国井治、小泉弘、小池潜、小林銀一、小林泰彦、坂下直枝、白籬史朗、節田重節、辰野勇、穂苅康治、三宅修、八木原暎明

#### ■創刊1000号記念読者プレゼント

応募者のなかから抽選で1000名様に1000号記念オリジナル・深型チタンシェラカップをプレゼ

ント！

## ■別冊付録 登山用語小辞典

260ページ／A4変型／定価：1200円（税込）

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

---

### 【本リリースについてのお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：山と溪谷編集部・宮崎（副編集長）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1909 メール：miyazaki-hi@yamakei.co.jp

※第1号（創刊号）および最新の8月号（通巻1000号）の表紙画像がご入り用の場合はJPEGデータをメールでお送りいたします。